

施策番号	0501		
施策名	生活安全（防犯・事故防止）の推進		
概要	関係機関との連携を強化しながら、防犯のための啓発や環境づくり、交通安全のルールやマナーの啓発を行うとともに、地域における防犯・事故防止の取組を支援する。		
担当局・部室	文化市民局・市民生活部	共管局・部室	
上位政策	5 市民生活の安全		
施策に関する主な分野別計画等	生活安全（防犯・事故防止）基本計画		

施策の評価

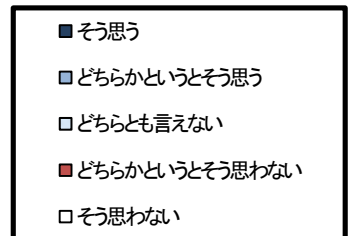
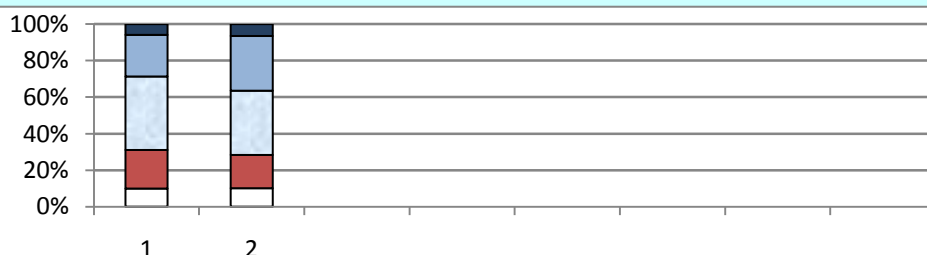
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 交通事故による死者数(人)	-	a	40	47	38人以下	76.3%	b	1.00
2 交通事故による死傷者数(人)	-	a	11,116	10,465	11,600人以下	109.8%	a	1.00
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 犯罪や事故など万が一のことがあっても、お互いに助け合えるまちである。	32 5.9%	124 22.8%	219 40.3%	115 21.1%	54 9.9%	544	c	
2 事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にらせるまちになっている。	36 6.5%	166 30.0%	195 35.2%	101 18.2%	56 10.1%	554	c	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							c	



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 「交通事故の死者数」などの客観指標の数値よりも、市民が安全を実感した「体感治安」の向上の方がより安全対策の効果の現れと言えることから、市民の実感に重みを置くこととする。						年 度	-
(原因分析) ・交通事故発生件数は、過去10年間を見ると、平成14年をピークに減少傾向にある。客観指標では、「交通事故の死者数」は前回より若干増加し、目標値の達成度は約76%となったが、「交通事故による死傷者数」は減少し、目標値を達成した。 ・一方、いわゆる「体感治安」を示す市民の実感については、自治組織・警察・行政による取組が比較的信頼されているが、市民生活実感総合評価ではc評価となっており、改善の余地がある。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	違法駐車等防止対策事業	287,529	262,216	かなり良い	行財政局
2	防犯推進委員連絡協議会助成	1,760	1,737	良い	文化市民局
3	生活安全条例に基づく施策の推進	37,192	51,227	かなり良い	文化市民局
4	交通安全対策の推進	74,534	84,270	良い	文化市民局
5	地域の安心安全ネットワーク形成事業	41,783	30,760	かなり良い	文化市民局
6	京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例の推進	77,879	91,265	かなり悪い	文化市民局
7	犯罪被害者支援策の推進	27,115	24,612	良い	文化市民局
8	野生鳥獣による生活環境被害防止対策及び自主防除組織支援対策	24,006	32,088	かなり悪い	文化市民局
9	北区猿害対策事業	4,143	-	かなり良い	区役所
10	山科区獣害対策チームの運営	7,174	-	かなり良い	区役所
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・引き続き、学区の安心安全ネットの継続的な取組を応援するため、補助金、防犯活動支援物品の貸出し、NPOなどによる防犯・交通安全出前講座、京都府警察が設けた学生防犯ボランティア登録制度である、ロックモンキーズとの防犯合同啓発を実施するとともに、ロックモンキーズの活動に対しても、補助金を支給する。

・平成24年度からは新たに、自治連合会や町内会といった地域団体を対象として、犯罪抑止効果が期待される、街頭防犯カメラに対する設置促進のための補助金を創設する。

・こうした事業により、防犯、地域福祉、防災、子どもたちの安全対策など、身近な安心・安全の確保のための、市民の自主的な活動を応援する。

施策名	0501	生活安全（防犯・事故防止）の推進									
指標名	交通事故による死者数（人）										
担当課	くらし安全推進課		連絡先	222-3193							
1 指標の説明											
交通事故発生から24時間以内の死者数											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標			出典：京都市主要統計								
4 数値											
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値							
数値	40	47	7人増	数値 38人以下	根拠 平成22年の目標値（40人以下）と、平成32年の目標値（25人以下）から、各年度の目標を等差的に算出						
	全国順位	中長期目標			備考						
数値		数値 25人以下	目標年次 32年度	達成度 12.0%		根拠 第2次生活安全基本計画					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価 ・以下20%刻みでb～e評価		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>b</td> </tr> </table>			23	24	-	a	b
	23	24									
-	a	b									
指標名 交通事故による死傷者数(人)											
担当課	くらし安全推進課		連絡先	222-3193							
1 指標の説明											
交通事故によって負傷し、治療を要する者の数（交通事故発生から24時間以内の死者数を含む。）											
2 指標の意味			3 算出方法・出典等								
交通事故や犯罪が少ない安心・安全なまちづくりに向けた進み具合を示す指標			出典：京都市主要統計								
4 数値											
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値							
数値	11,116	10,465	651人減	数値 11,600人以下	根拠 平成22年の目標値（12千人以下）と、平成32年の目標値（8,400人以下）から、各年度の目標を等差的に算出						
	全国順位	中長期目標			備考						
数値		数値 8,400人以下	目標年次 32年度	達成度 75.4%		根拠 第2次生活安全基本計画					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果							
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20%未満		・当該指標は市民の「自らを守る意識」の高まりなどが大きく影響することなどから、80%以上をa評価 ・以下20%刻みでb～e評価		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>a</td> <td>a</td> </tr> </table>			23	24	-	a	a
	23	24									
-	a	a									